

第五回いせしま綱曳き大会 競技規則

チーム編成

- ① チームは次のとおり編成される。
監督 1名 (ジュニアの部以外のクラスは、監督と選手との兼任は可。)
選手 (交代選手含む) 10名以内
- ② 競技は8人の選手によって行われ、選手の交代は2名まで認められる。
- ③ ジュニアの部に出場するチームは、平成24年3月の時点で小学3年生～小学6年生 (大会当日小学4年生～中学1年生)でチームを構成する。男女混成可。男女比率は問わない。体重制限無し。ジュニアの部出場チームは必ず監督1名(成人)をつけること。
- ④ 一般男子の部に出場するチームは、中学生以上の男子のみでチームを構成する。体重制限無し。
- ⑤ 一般女子の部に出場するチームは、中学生以上の女子のみでチームを構成する。体重制限無し。
- ⑥ 一般男女混成の部に出場するチームは、競技選手8名の内、男子選手を1名～4名以内とし、男女合計8名になるよう女子選手数を調整しチームを構成する。選手を交代する際にも、競技選手8名の内、男子選手は4名を超えないように交代しなければならない。体重制限無し。
- ⑦ 一般男子の部または一般女子の部に出場する選手が、一般男女混成の部出場チームへ重複エントリーすることは可能であるが、一般男子の部または一般女子の部の中で複数のチームにエントリーすることは認められない。

服 装

- ① スポーツ競技に相応しい服装であること。各種スポーツチームのユニフォーム、はっぴ 等の着用可。
- ② シューズは綱引用シューズ、または室内専用シューズを着用すること。裸足での出場や、スパイクや靴底に突起のある靴の使用は認めない。屋外との兼用の靴は使用しない事。
- ③ 手は素手とし、手袋の使用は認めない。
- ④ 保護ベルトを着用する場合は、シャツの上に着用する場合に限って許可される。
- ⑤ 手の滑り止めを使用する場合は、各チームで用意すること。ただし炭酸マグネシウムのみ使用可。

競 技

- ① 競技は、相手チームを自陣に4m引き込んだ場合、または相手チームが反則行為の繰り返しによって失格を宣言された場合に終了し、自チームの勝利となる。
- ② 予選リーグ戦は1セットマッチで勝敗を決し、1本先勝したチームが勝利チームとなる。各チームのサイドはあらかじめ抽選によって決定される。決勝トーナメント戦においても準決勝戦までは1セットマッチを採用する。
- ③ 各クラスの決勝戦は3セットマッチ (2本先勝) で勝敗を決する。決勝戦の2セット目はサイドを交代し、3セット目が必要な場合は抽選等によってサイドを決定する。
- ④ 選手のポジションは自由に変更でき、ロープを引く位置は、ロープの左右どちらでも良い。
- ⑤ 監督は競技中に指揮をとることができ、競技中の選手に指示を与える場合は審判員の判定に支障が無い位置にいないなければならない。監督が競技中にレーンの内側に立ち入ることは許されない。
- ⑥ 競技開始時間になっても、競技選手8人が揃わないチームは不戦敗となる。